

後期栄養確保のため、2回目穂肥は確実に施用！

1 生育概況

- 「コシヒカリ」の生育は、草丈はやや長く、茎数・葉数は並、葉色は濃くなっています。
- 「こしいぶき」の生育は、草丈は長く、茎数・葉数は並、葉色は濃くなっています。

7/20 現在の生育 草丈：やや長 茎数：並 葉数：並 葉色：濃い
 コシヒカリ (指標値比) (106%) (100%) (+0.2葉) (SPAD値 +3.2)

	田植	草丈 (cm)			茎数 (本/m ²)			葉数 (葉)			葉色 (SPAD)			
		本年	指標比	前年比	本年	指標比	前年比	本年	指標差	前年差	本年	指標差	前年差	
コシヒカリ	下稻塚	5/9	84	106	101	440	99	100	12.3	-0.1	-0.9	33.6	+1.6	-0.1
	高森	5/17	88	111	97	439	99	100	12.7	+0.3	+0.2	36.7	+4.7	-1.5
	長崎	5/10	81	103	98	432	97	82	12.7	+0.3	+0.6	38.3	+6.3	+5.3
	上百々	5/19	84	106	104	478	107	134	12.5	+0.1	+0.1	32.0	0.0	-0.3
	平均		84	106	100	447	100	102	12.6	+0.2	0.0	35.2	+3.2	+0.9
こしいぶき	関山	5/30	66	99	97	285	75	62	11.2	0.0	+0.4	37.9	+4.9	-3.4
	下稻塚	5/8	86	115	100	444	108	92	12.8	-0.2	-0.6	39.2	+4.2	-1.4
	長崎	5/15	79	105	96	410	100	67	14.1	+1.1	+0.7	44.8	+9.8	-0.2
	上百々	5/16	85	113	104	371	90	99	12.8	-0.2	-0.2	35.5	+0.5	-2.8
	平均		83	111	100	408	100	83	13.2	+0.2	-0.1	39.8	+4.8	-1.5

2 北陸地方1か月予報 (新潟地方気象台 7月15日発表)

- 高気圧に覆われやすいため、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。一か月の平均気温はほぼ平年並みの見込みです。

3 今後の管理

- 幼穂形成期から出穂・開花期頃は最も水が必要な時期です。稲体の活力低下や下葉の枯れ上がりを防ぐため、こまめなかん水を繰り返しましょう。
- 後期栄養を確保するため、コシヒカリの2回目穂肥 (出穂期10日前頃) は、窒素成分で1.0~1.5kg/10aを確実に施用します。1回目穂肥が出穂期18日前より遅れた場合は、1回目穂肥を施用した日の7日後をめやすに2回目を施用しましょう。
- 基肥一発肥料で、出穂期の葉色がSPAD値32~33を下回ると予想される場合には、出穂期10日前頃までに穂肥を施用しましょう。
- 斑点米カメムシ類の発生は平年より多くなっています。農道や畦畔のイネ科雑草が穂をつけないよう、3週間程度の間隔で草刈りを行い、薬剤防除は出穂から7日後までに実施しましょう。

次回は7月26日の予定です。

問い合わせ先 上越農業普及指導センター作物担当 (電話025-526-9406)